

医療行動科学 4 : 604-4-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
4年次	通年	*内田 貴之（歯科総合診療学）

学修目標 (GIO) と 単位数	単位数：2単位 【前期】 病気を「診断する」とは単に病名を決定することにとどまらず、患者が訴える症状や検査結果を基に異常な状態を特定するだけでなく、病態生理学的な見地からの診断を超えて、全身的、心理的、社会的な要素を包含した広範な情報から患者の状態を総合的に理解して、個々の患者に最適な医療を提供するための根拠を得るプロセスです。 「歯科総合診療学」の講義では、細分化されがちな歯科医学の中で、患者を総合的に診察すること、そして全人的視点で患者の状態を捉えることに焦点を当てます。これには、患者が訴える疾患へのプライマリーケアと、一口腔一単位に基づく治療計画の立案を含みます。この講義を通じて、患者中心のケアを提供するための包括的なアプローチを修得することを目指します。 【後期】 前学期の座学で学んだ患者中心の医療の知識を実際の臨床場面で応用し、全人的医療を展開するために、以下の基本的臨床技能を臨床実習に向けて修得を目指します。 ・良好な患者－歯科医師関係を築くためのコミュニケーションの重要性を深く理解し、その技術を修得します。 ・個々の患者に最適な歯科医療を提供するために、患者を全人的な観点から捉えた治療計画を立案する方法を学びます。 ・歯科医療におけるチームワークの重要性を理解し、学生間の協力を通じて患者中心の医療を実践する能力を養います。
担当教員	*内田 貴之、*青木 伸一郎、*遠藤 弘康、*岡本 康裕、*梶本 真澄、*秦 光賢、大沢 聖子、※*桃原 直、※鈴木 義孝、※*岩橋 諒、※大山 篤、※石井 広志、*前田 紀香、永井 邦彦、森 正宏、須永 亨、船越 光豊、※大山 和次
教科書	なし なし なし
参考図書	歯科医療面接アートとサイエンス 伊藤孝訓編著 砂書房
評価方法 (EV)	【前期】 授業時間内に2回行う平常試験（90%）、授業態度(10%)をもって総合評価（最終評価）する。ただし平常試験の結果に応じて再試験等の措置を講じることがある。 受講態度は出席s瑠ことが前提として与える。 授業時間数の1/5以上を欠席した場合の成績評価は0～60点とする。 【後期】 授業時間内に行う平常試験および都度行う小テスト(60%)、制作物・学修レポート等の提出物(30%)、受講態度(10%)をもって総合評価（最終評価）する。 総合評価の結果に応じて再試験等の措置を講じることがある。 受講態度は出席することが前提として与えられ、講義・演習への参加の積極性を評価対象とする。 授業時間数の1/5以上を欠席した場合の成績評価は0～60点とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	医療行動科学4は、これまでの3年間で学んできた内容とは少し異なります。この講義と演習を通じて、個々の患者に対して最良のマネジメントを行えるようになることを目指します。前期の講義と後期の演習を経て、来年度から始まる臨床実習において、実際の患者に対応できる知識、技能、および態度を身につけることができるようにしてください。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/10（木） 4時限 14:50～16:20	【前期】ガイダンス	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、医療面接と臨床判断学に関する知識を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 医療行動科学4の意義、目的、講義内容、学修方法、講義形態を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：なし ・準備学修時間：なし ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 202教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療（インフォームド・コンセント、セカンドオピニオンなど） 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *前田 紀香

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/10 (木) 4時限 14:50～16:20	【前期】ガイダンス	A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *前田 紀香
2025/04/17 (木) 4時限 14:50～16:20	臨床判断学 (1) 1) 臨床 (診断) 推論 2) 診断プロセス 3) 医学判断学	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、歯科疾患の診断思考に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 臨床情報には不確定性要素を含み、不確定性下で臨床判断を行うことを説明できる。 3. 基本的な診断論理を説明できる。 4. 意思決定の方法について説明できる。 5. 診断プロセス (診断情報の収集・分析・決定) について列挙し説明できる。 6. 医学判断学について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 基本的な問題解決法についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 ク 根拠に基づいた医療 (EBM) a 患者への適用 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-3 診療技能と患者ケア ③口腔・顎顔面領域の疾患を正しく診断し、患者の立場を尊重した治療方針・治療計画を立案できる。	*内田 貴之 *前田 紀香
2025/04/24 (木) 4時限 14:50～16:20	臨床判断学 (2) 1) EBM 2) 決断分析の実践	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、EBMに関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 診断テストを使うことができる。 3. EBMの概念を説明できる。 4. 臨床判断分析の手順を説明できる。 5. Decision tree による実際例を説明できる。 6. NBMの概念を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 診断推論についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 ク 根拠に基づいた医療 (EBM) a 患者への適用 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。	*内田 貴之 *前田 紀香
2025/05/01 (木) 4時限 14:50～16:20	医師の心理 1) 誤診 2) 医療過誤最少化	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、医療過誤が発生する要因に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 経験則による判断に内在する問題やバイアスを説明できる。 3. 臨床判断時の誤診を導く心理特性について説明できる。 4. 診断プロセスの各ステップに起こるバイアスを説明できる。 5. ヒューマンエラーについて説明できる。 6. 歯科の医療過誤訴訟の特性について説明できる。	*青木 伸一郎 *前田 紀香

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/01 (木) 4時限 14:50～16:20	医師の心理 1) 誤診 2) 医療過誤最少化	7. クリティカルパスについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SB0sの項目を調べる。 医療の齟齬についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 202教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 カ 医療事故の防止 a 医療事故と医療過誤 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 カ 医療事故の防止 b 医療事故の発生要因 ク 医療裁判 a 医事紛争、賠償 カ 医療事故の防止 a 医療事故と医療過誤 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-6 医療の質と安全管理 A-6-1) 安全性の確保 ①医療上の事故等の発生要因（ヒューマンエラー、システムエラー等）を説明できる。 ②医療上の事故等に対する防止策を説明できる。	*青木 伸一郎 *前田 紀香
2025/05/15 (木) 4時限 14:50～16:20	患者の心理 1) 歯科患者の特性 2) 心理的配慮	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、歯科患者の心理特性に関する知識を修得する。 【行動目標（SB0s）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 歯科患者の特異的な心理状況について説明できる。 3. 患者対応時の注意点を列挙できる。 4. 患者の望む治療者（歯科医師）の人間像を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SB0sの項目を調べる。 患者心理を行動科学4で復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 202教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 e 健康格差、健康の社会的決定要因 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ⑤診療室における患者の心理と行動を説明できる。	*青木 伸一郎 *前田 紀香
2025/05/22 (木) 4時限 14:50～16:20	医療面接（1） 1) 会話のマナー 2) コミュニケーションの進め方 3) 患者教育	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、効率的に情報収集する仕方を修得する。 【行動目標（SB0s）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 聴く態度の重要性について説明できる。 3. 患者とのよいラポールを確立するための方法を説明できる。 4. 患者教育のためのコーチングスキルを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SB0sの項目を調べる。 医療面接についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	*青木 伸一郎 *前田 紀香

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/22 (木) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (1) 1) 会話のマナー 2) コミュニケーションの進め方 3) 患者教育	無・パワーポイント、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ③病歴聴取 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等) を説明できる。 ⑤診療室における患者の心理と行動を説明できる。	*青木 伸一郎 *前田 紀香
2025/05/29 (木) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (2)	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、医療面接の意義と目的に関する知識を修得する。 【行動目標 (S B O s)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接の目的を説明できる。 3. 医療面接で行う具体的な内容を説明できる。 4. 情報の伝達の難しさを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SB0sの項目を調べる。 話を聴く態度、感情への対応、患者を理解するために必要な事項についてネット等で調べ学習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 c マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) c マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) 【コアカリキュラム】 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。	大山 篤
2025/06/05 (木) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (3) 1) OSCE 2) ロールプレイ 3) 会話分析	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、効率的な会話スキルを学ぶ会話分析に関する知識を修得する。 【行動目標 (S B O s)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. OSCE (試験) の実施の仕方を概説できる。 3. ロールプレイの目的や方法を説明できる。 4. 信頼関係を確立するための医療面接スキルを説明できる。 5. トランスクリプトの目的や方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SB0sの項目を調べる。 ロールプレイについてネット等で調べ復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分	*青木 伸一郎 *前田 紀香

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/05 (木) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (3) 1) OSCE 2) ロールプレイ 3) 会話分析	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 d 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 d 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ⑤診療室における患者の心理と行動を説明できる。	*青木 伸一郎 *前田 紀香
2025/06/12 (木) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (4) 1) 動機付け面接 2) 説明技法	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、動機付け面接、説明技法に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOS)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接を行うための基本的コミュニケーションを説明できる。 3. 信頼関係を確立するための医療面接スキルを説明できる。 4. 患者が理解しやすい説明の仕方を説明できる。 5. 患者の行動変容を促す動機づけ面接を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SB0sの項目を調べる。 医療面接の聴き方・説明の技法療についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 d 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 c マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ③病歴聴取 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等) を説明できる。	*青木 伸一郎 *前田 紀香
2025/06/19 (木) 4時限 14:50～16:20	平常試験 1	【授業の一般目標】 【準備学修項目と準備学修時間】 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 【学修方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 202教室	*内田 貴之 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 *前田 紀香
2025/06/26 (木) 4時限 14:50～16:20	地域における患者 関係 ～歯科医師 会を中心として～	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実施するために、地域における患者関係を理解する。 【行動目標 (SBOS)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」	石井 広志

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/26 (木) 4時限 14:50～16:20	地域における患者関係 ～歯科医師会を中心として～	2. 患者－医療者関係での医療者の役割を説明できる。 3. 社会における歯科医師会の役割を概説できる。 4. 地域における病診連携を説明できる。 5. 地域における多職種連携の必要性について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SB0sの項目を調べる。 歯科医師会の役割についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 202教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療（インフォームド・コンセント、セカンドオピニオンなど） 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 ⑧地域における保健・医療・福祉・介護の連携（地域包括ケアシステム）を説明できる。 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-5 チーム医療の実践 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ③保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。	石井 広志
2025/07/03 (木) 4時限 14:50～16:20	診療録（1） 1）診療録の構成 2）現症（全身所見） 3）現症（口腔内・外所見） 4）口腔内診査 5）患者背景（生活習慣・社会歴） 6）主訴 7）現病歴 8）既往	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、診療録の構成・記載内容に関する知識を修得する。 【行動目標（SB0s）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 診療録の構成を列挙できる。 3. 現症の基本的な記載について説明できる。 4. 口腔内診査の項目を列挙できる。 5. 患者背景の重要性を説明できる。 6. 主訴の定義と歯科特有の主訴を列挙できる。 7. 現病歴の基本的な記載について説明できる。 8. 医科的・歯科的既往歴の重要性を説明できる。 9. 家族歴の重要性を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SB0sの項目を調べる。 診療録とは、についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 202教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 サ 診療録、診療情報の記録と管理 a 診療に関する記録（診療録、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、歯科技工指示書、模型）の管理・保存 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ④現症の取り方（視診、触診、打診、聴診等）を説明できる。	*岡本 康裕 *前田 紀香
2025/07/10 (木) 4時限 14:50～16:20	診療録（2） 1）POS 2）POMR 3）SOAP	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、問題指向型診療録（POMR）およびSOAPに関する知識を修得する。 【行動目標（SB0s）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. POSについて解説できる。 3. POMRの記載項目を挙げて各々について説明できる。 4. SOAPの記載項目を挙げて各々について説明できる。 5. 診断思考に基づいた問診（病歴聴取）を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】	*岡本 康裕 *前田 紀香

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/10 (木) 4時限 14:50～16:20	診療録 (2) 1) POS 2) POMR 3) SOAP	・準備学修項目：シラバスを確認し、SB0sの項目を調べる。 患者記録の大切さについてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 サ 診療録、診療情報の記録と管理 b SOAP (主観的情報、客観的情報、評価、計画) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ⑦問題志向型診療記録(problem-oriented medical record <POMR>)を説明できる	*岡本 康裕 *前田 紀香
2025/07/17 (木) 4時限 14:50～16:20	診 察 1) 口腔内診査 2) 診査所見 3) 理学的診査と病態	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、歯科治療における口腔診査に関する知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 口腔の特異性と口腔病変に対する基本的な考え方を説明できる。 3. 口腔内診査の特性について説明できる。 4. 口腔内診査に用いる基本的な診査法の術式を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SB0sの項目を調べる。 これまでに学んだ歯科疾患について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 イ 基本手技 a 視診、触診、打診、聴診 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ④現症の取り方 (視診、触診、打診、聴診等) を説明できる。	*岡本 康裕 *前田 紀香
2025/07/24 (木) 4時限 14:50～16:20	症候学 総論 1) 歯の症候 2) 歯髄の症候 3) 根尖歯周組織の症候 4) 辺縁歯周組織の症候 5) 歯科における臨床推論の特徴	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、歯科疾患の症状・病態に関する知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 齲蝕の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 3. 歯髄疾患の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 4. 根尖性歯周炎の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 5. 辺縁性歯周炎の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 6. 歯科における臨床推論の特徴を説明できる。 7. 症状、検査所見から診断名を推論できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SB0sの項目を調べる。 これまでに学んだ歯科疾患について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論	*内田 貴之 *前田 紀香

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/24 (木) 4時限 14:50～16:20	症候学 総論 1) 歯の症候 2) 歯髄の症候 3) 根尖歯周組織の症候 4) 辺縁歯周組織の症候 5) 歯科における臨床推論の特徴	総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の病因と病態を説明できる。 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ①診察、検査及び診断に必要な事項を列举できる。	*内田 貴之 *前田 紀香
2025/08/21 (木) 4時限 14:50～16:20	平常試験 2	【授業の一般目標】 【準備学修項目と準備学修時間】 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 【学修方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 202教室	*内田 貴之 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 *前田 紀香
2025/09/09 (火) 4時限 14:50～16:20	医学におけるプロフェッショナルリズム	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療行動科学に関する知識を習得する。ープロとしての未知の世界への探求心と目的達成のプロセスを知る。ー 【行動目標 (SBOs)】 1. 突然死する心臓血管疾患を列举できる。 2. 大動脈疾患の原因を列举できる。 3. 大動脈疾患の症候を列举できる。 4. 大動脈疾患の治療法と合併症を列举できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 急性大動脈解離について ・準備学修時間: 2 時間 ・事後学修項目: 胸部 (弓部) 大動脈瘤について ・事後学修時間: 2 時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無, 参考図書: 大動脈瘤と大動脈解離がよくわかる本, 病気が見える (第 5 版) 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 [骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系] 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 1 全身の症候 ウ 呼吸・循環器 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-4) 循環障害 ①虚血、充血及びびうっ血の徴候、原因、転帰及び関連疾患を説明できる。 ②出血の原因、種類及び転帰を説明できる。 ③血栓と塞栓の形成機序、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。 ④梗塞の種類、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。 ⑤浮腫の原因と転帰を説明できる。 ⑥ショックの成因と種類を説明できる。	*秦 光賢 *内田 貴之
2025/09/16 (火) 4時限 14:50～16:20	問題志向型診療録 (2) 問題点の抽出, 整理1-② (チーム)	【授業の一般目標】 問題志向型診療録: 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接に適した態度で初診患者に対応した医療面接ができる。 3. 医療面接で用いる言語的・非言語的コミュニケーションスキルが表現できる。 4. 模擬患者さんに対する配慮ができる。 5. POMR (問題志向型診療録) の記載項目をあげて、各々の意義を説明できる。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 *前田 紀香 *大沢 聖子 *鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/16 (火) 4時限 14:50～16:20	問題志向型診療録 (2) 問題点の抽出, 整理1-② (チーム)	6. 歯科治療と全身疾患との関連を理解し説明できる。 7. POS の形式に則った情報を整理できる。 8. 問題点の抽出を行い、問題リストをまとめることができる。 9. 現症所見から正常、異常を判断できる。 10. 臨床診断名を決定した理由を述べるができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SB0sの項目を調べる。 会話のトレーニングの重要性をネット等で調べ自習する。 問題志向型医療 (POS) について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ロールプレイ、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器 有：グループディスカッションを行う。ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 202教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加） 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1 コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-2 基本的診察法 F-2-1 医療面接 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ②患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1 診察の基本 ①診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。 ⑦問題志向型診療記録 (problem-oriented medical record <POMR>) を説明できる F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-1 診察の基本 F-1-1 口腔内の診察・記録 ②患者情報から必要な診察、検査を説明できる。 ③高頻度歯科疾患を診断し、その治療方針・治療計画を立案できる。 ④主観的所見、客観的所見、評価、計画 (subjective, objective, assessment, plan<SOAP>) で診療録を作成できる。	森 正宏 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 大山 和次
2025/09/30 (火) 4時限 14:50～16:20	問題志向型診療録 (4) 治療方針の立案1-② (個人)	【授業の一般目標】 問題志向型診療録 (4) : 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。 【行動目標（SB0s）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接に適した態度で初診患者に対応した医療面接ができる。 3. 医療面接で用いる言語的・非言語的コミュニケーションスキルが表現できる。 4. 模擬患者さんに対する配慮ができる。 5. 各疾患に対して適切な治療方針を立案できる。 6. 一口腔単位を考慮した治療方針を立案できる。 7. 治療方針の立案の根拠を説明できる。 8. 診断名を決定した根拠を説明できる。 9. 治療方針に従った治療順序を列挙できる。 10. 基本的な患者教育の内容を立案できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SB0sの項目を調べる。 会話のトレーニングの重要性をネット等で調べ自習する。 問題志向型医療 (POS) について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ロールプレイ、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器 有：グループディスカッションを行う。ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 *前田 紀香 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 森 正宏 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 大山 和次

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/30 (火) 4時限 14:50～16:20	問題志向型診療録 (4) 治療方針の 立案1-② (個人)	【学修方略 (L S)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ①診察、検査及び診断に必要な事項を列举できる。 ③病歴聴取 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等) を説明できる。 ⑦問題志向型診療記録 (problem-oriented medical record <POMR>) を説明できる F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-1 診察の基本 F-1-1) 口腔内の診察・記録 ④主観的所見、客観的所見、評価、計画 (subjective, objective, assessment, plan<SOAP>) で診療録を作成できる。 ⑦口腔と医科疾患との関連について説明することができる。 G 臨床実習 G-1 診療の基本 G-1-1) 臨床診断・治療計画 ①歯科・口腔疾患を正しく診断し、治療方針・治療計画の立案、予後の推測ができる。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 *前田 紀香 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 森 正宏 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 大山 和次
2025/10/07 (火) 4時限 14:50～16:20	問題志向型診療録 (6) 問題点の抽出、 整理2-① (個人)	【授業の一般目標】 問題志向型診療録 (6) : 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接に適した態度で初診患者に対応した医療面接ができる。 3. 医療面接で用いる言語的・非言語的コミュニケーションスキルが表現できる。 4. 模擬患者さんに対する配慮ができる。 5. POMR (問題志向型診療録) の記載項目をあげて、各々の意義を説明できる。 6. 歯科治療と全身疾患との関連を理解し説明できる。 7. POS の形式に則った情報を整理できる。 8. 問題点の抽出を行い、問題リストをまとめることができる。 9. 現症所見から正常、異常を判断できる。 10. 臨床診断名を決定した理由を述べるることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 会話のトレーニングの重要性をネット等で調べ自習する。 問題志向型医療 (POS) について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ロールプレイ、ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器 有：グループディスカッションを行う。ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料 【学修方略 (L S)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 *前田 紀香 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 森 正宏 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 大山 和次

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/07 (火) 4時限 14:50～16:20	問題志向型診療録 (6) 問題点の抽出、整理2-① (個人)	A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ①診察、検査及び診断に必要な事項を列举できる。 ⑦問題志向型診療記録 (problem-oriented medical record <POMR>) を説明できる F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-1 診察の基本 F-1-1) 口腔内の診察・記録 ②患者情報から必要な診察、検査を説明できる。 ④高頻度歯科疾患を診断し、その治療方針・治療計画を立案できる。 ④主観的所見、客観的所見、評価、計画 (subjective, objective, assessment, plan<SOAP>) で診療録を作成できる。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 *前田 紀香 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃園 直 *岩橋 諒 森 正宏 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 大山 和次
2025/10/14 (火) 4時限 14:50～16:20	問題志向型診療録 (8) 治療方針の立案2-①	【授業の一般目標】 問題志向型診療録 (8) : 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。 【行動目標 (SBOS)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接に適した態度で初診患者に対応した医療面接ができる。 3. 医療面接で用いる言語的・非言語的コミュニケーションスキルが表現できる。 4. 模擬患者さんに対する配慮ができる。 5. 各疾患に対して適切な治療方針を立案できる。 6. 一口腔単位を考慮した治療方針を立案できる。 7. 治療方針の立案の根拠を説明できる。 8. 診断名を決定した根拠を説明できる。 9. 治療方針に従った治療順序を列举できる。 10. 基本的な患者教育の内容を立案できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: シラバスを確認し、SBOSの項目を調べる。 会話のトレーニングの重要性をネット等で調べ自習する。 問題志向型医療 (POS) について復習する。 ・準備学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: ロールプレイ、ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器 有: グループディスカッションを行う。ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料 【学修方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ①診察、検査及び診断に必要な事項を列举できる。 ③病歴聴取 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等) を説明できる。 ⑦問題志向型診療記録 (problem-oriented medical record <POMR>) を説明できる F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-1 診察の基本 F-1-1) 口腔内の診察・記録 ④主観的所見、客観的所見、評価、計画 (subjective, objective, assessment, plan<SOAP>) で診療録を作成できる。 ⑦口腔と医科疾患との関連について説明することができる。 G 臨床実習 G-1 診療の基本	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 *前田 紀香 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃園 直 *岩橋 諒 森 正宏 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 大山 和次

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/14 (火) 4時限 14:50～16:20	問題志向型診療録 (8) 治療方針の立案2-①	G-1-1) 臨床診断・治療計画 ①歯科・口腔疾患を正しく診断し、治療方針・治療計画の立案、予後の推測ができる。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 *前田 紀香 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 森 正宏 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 大山 和次
2025/10/21 (火) 4時限 14:50～16:20	医療面接(1) 「評価シート・評価マニュアルの作成」	【授業の一般目標】 医療面接：全人的歯科医療を実践するために、医療面接の行動評価に関する知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接の目的を説明できる。 3. 医療面接の流れを説明できる。 4. 医療面接に必要な態度、マナーを説明できる。 5. 患者中心の歯科医療を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 医療面接の評価項目について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 202教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 c マナー（身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応） 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診療法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 *前田 紀香 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 森 正宏 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 大山 和次
2025/10/28 (火) 4時限 14:50～16:20	医療面接(3) 「評価シート・評価マニュアルの解説」・「医療面接の流れ」	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接の行動評価に関する知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接の目的を説明できる。 3. 医療面接の流れを説明できる。 4. 医療面接に必要な態度、マナーを説明できる。 5. 患者中心の歯科医療を説明できる。 6. 医療面接におけるコンテンツの評価項目を説明できる。 7. 医療面接におけるコンテンツの評価基準を説明できる。 8. 医療面接におけるプロセスの評価項目を説明できる。 9. 医療面接におけるプロセスの評価基準を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 医療面接の評価項目について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 *前田 紀香 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 森 正宏 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 大山 和次

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/28 (火) 4時限 14:50～16:20	医療面接(3) 「評価シート・評価マニュアルの解説」・「医療面接の流れ」	・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 202教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 c マナー（身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応） 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診療法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 *前田 紀香 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 森 正宏 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 大山 和次
2025/11/11 (火) 4時限 14:50～16:20	医療面接(5) ビデオ撮影・ロールプレイ演習(2)	【授業の一般目標】 医療面接：全人的歯科医療を実践するために、医療面接の行動評価に関する知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.初診患者に対応した医療面接ができる。 3.医療面接に適した態度ができる。 4.医療面接で用いるコミュニケーションスキルが表現できる。 5.医療面接で用いる非言語的コミュニケーションを表現できる。 6.模擬患者さんに対する配慮ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 会話のトレーニングの重要性をネット等で調べ自習する。 問題志向型医療(POS) について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ロールプレイ、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 202教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 b 自己紹介、患者の確認 c マナー（身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応） a 意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加） b 自己紹介、患者の確認 c マナー（身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 *前田 紀香 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 森 正宏 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 大山 和次

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/11 (火) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (5) ビデオ撮影・ロールプレイ演習 (2)	進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) d 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望) e 患者への説明・声かけ・例示 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診療法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 *前田 紀香 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃園 直 *岩橋 諒 森 正宏 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 大山 和次
2025/11/18 (火) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (7) 「医療面接のReflection」	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接に適した態度を分析できる。 3. 医療面接 (SP演習) で使用された質問法を分析できる。 4. 医療面接 (SP演習) で使用された言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 5. 医療面接 (SP演習) で使用された非言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 6. 医療面接 (SP演習) の歯科疾患の臨床推論を分析できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 振り返りの仕方についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料 【学修方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 サ 診療録、診療情報の記録と管理 a 診療に関する記録 (診療録、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、歯科技工指示書、模型) の管理・保存 b SOAP (主観的情報、客観的情報、評価、計画) a 診療に関する記録 (診療録、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、歯科技工指示書、模型) の管理・保存 b SOAP (主観的情報、客観的情報、評価、計画) 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) b 自己紹介、患者の確認 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 *前田 紀香 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃園 直 *岩橋 諒 森 正宏 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 大山 和次

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/18 (火) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (7) 「医療面接のReflection」	③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診療法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 *前田 紀香 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃園 直 *岩橋 諒 森 正宏 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 大山 和次
2025/11/25 (火) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (9) ビ デオ撮影・ロール プレイ演習 (4)	【授業の一般目標】 医療面接：全人的歯科医療を実践するために、医療面接の行動評価に関する知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 初診患者に対応した医療面接ができる。 3. 医療面接に適した態度ができる。 4. 医療面接で用いるコミュニケーションスキルが表現できる。 5. 医療面接で用いる非言語的コミュニケーションを表現できる。 6. 模擬患者さんに対する配慮ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 会話のトレーニングの重要性をネット等で調べ自習する。 問題志向型医療 (POS) について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ロールプレイ、ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器 【学修方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 b 自己紹介、患者の確認 c マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) d 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望) e 患者への説明・声かけ・例示 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診療法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 *前田 紀香 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃園 直 *岩橋 諒 森 正宏 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 大山 和次
2025/12/02 (火) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (11) 「医療面接のReflection」	【授業の一般目標】 医療面接：全人的歯科医療を実践するために、医療面接の行動評価に関する知識を習得する。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/02 (火) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (11) 「医療面接のReflection」	【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接に適した態度を分析できる。 3. 医療面接 (SP演習) で使用された質問法を分析できる。 4. 医療面接 (SP演習) で使用された言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 5. 医療面接 (SP演習) で使用された非言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 6. 医療面接 (SP演習) の歯科疾患の臨床推論を分析できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 振り返りの仕方についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料 【学修方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 サ 診療録、診療情報の記録と管理 a 診療に関する記録 (診療録、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、歯科技工指示書、模型) の管理・保存 b SOAP (主観的情報、客観的情報、評価、計画) 8 診察の基本 ウ 医療面接 b 自己紹介、患者の確認 c マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診療法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*前田 紀香 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 森 正宏 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 大山 和次
2025/12/09 (火) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (13) ビデオ撮影・ロールプレイ演習 (6)	【授業の一般目標】 医療面接：全人的歯科医療を実践するために、医療面接の行動評価に関する知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 初診患者に対応した医療面接ができる。 3. 医療面接に適した態度ができる。 4. 医療面接で用いるコミュニケーションスキルが表現できる。 5. 医療面接で用いる非言語的コミュニケーションを表現できる。 6. 模擬患者さんに対する配慮ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 会話のトレーニングの重要性をネット等で調べ自習する。 問題志向型医療 (POS) について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 *前田 紀香 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 森 正宏 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 大山 和次

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/09 (火) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (13) ビデオ撮影・ロールプレイ演習 (6)	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ロールプレイ、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器 【学修方略（L S）】 演習 【場所（教室/実習室）】 202教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 b 自己紹介、患者の確認 c マナー（身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応） d 聴取事項（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望） e 患者への説明・声かけ・例示 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1 コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-2 基本的診察法 F-2-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診療法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 *前田 紀香 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 森 正宏 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 大山 和次
2025/12/16 (火) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (15) 「医療面接のReflection」	【授業の一般目標】 医療面接：全人の歯科医療を実践するために、医療面接の行動評価に関する知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接に適した態度を分析できる。 3. 医療面接（SP演習）で使用された質問法を分析できる。 4. 医療面接（SP演習）で使用された言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 5. 医療面接（SP演習）で使用された非言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 6. 医療面接（SP演習）の歯科疾患の臨床推論を分析できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 振り返りの仕方についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料 【学修方略（L S）】 演習 【場所（教室/実習室）】 202教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加）	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 *前田 紀香 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 森 正宏 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 大山 和次

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/16 (火) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (15) 「医療面接のReflection」	【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 サ 診療録、診療情報の記録と管理 a 診療に関する記録 (診療録、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、歯科技工指示書、模型) の管理・保存 b SOAP (主観的情報、客観的情報、評価、計画) 8 診察の基本 ウ 医療面接 b 自己紹介、患者の確認 c マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診療法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 *前田 紀香 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃園 直 *岩橋 諒 森 正宏 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 大山 和次
2025/12/23 (火) 4時限 14:50～16:20	症候学 各論 (2) 歯髄炎	【授業の一般目標】 歯髄炎の病態、治療法に対する知識を整理するために、歯内治療の流れを理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 歯髄炎の症状と特徴を説明できる。 3. 歯髄炎における痛みの原因を説明できる。 4. 歯髄炎の進行状況を説明できる。 5. 歯髄炎の流れを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：なし ・準備学修時間：なし ・事後学修項目：講義当日中に授業配布資料を振り返り、講義内容を確実に理解する。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、講義内容のプリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 a 歯髄疾患 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 a 歯髄保存療法 b 歯髄除去療法 d 根管処置 e 根管充填 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。	*青木 伸一郎 *前田 紀香

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/01/13 (火) 4時限 14:50～16:20	症候学 各論 (4) 慢性歯周炎	【授業の一般目標】 慢性歯周炎の病態、治療法に対する知識を整理するために、歯周病治療の流れを理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 歯周病の症状と特徴を説明できる。 3. 歯周病における痛みの原因を説明できる。 4. 歯周病の進行状況を説明できる。 5. 歯周治療の流れを説明できる。 6. 歯周病と関連する全身疾患を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：なし ・準備学修時間：なし ・事後学修項目：講義当日中に授業配布資料を振り返り、講義内容を確実に理解する。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、講義内容のプリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態 a 歯肉病変とそのリスクファクター b 歯周炎とそのリスクファクター h 歯周疾患と健康の関わり b 歯周炎の予防・管理 c 咬合性外傷に対する治療 d 歯周外科治療 (切除療法、組織付着療法) j メインテナンス、SPT (supportive periodontal therapy) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ⑥歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針 (メインテナンス法を含む) を説明できる。 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	*遠藤 弘康 *前田 紀香
2026/01/20 (火) 4時限 14:50～16:20	ポートフォリオ	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、医療面接と臨床判断学に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ポートフォリオについて説明できる。 2. POS の形式に則った情報を整理できる。 3. POS の形式に則った情報を整理できる。 4. 一口腔単位を考慮した治療方針を立案できる。 5. 治療方針に従った治療順序を列挙できる。 6. ポートフォリオを作成できる。 7. Web Classを操作できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 これまで学んだ行動科学について復習する。 ・準備学修時間：15分 ・事後学修項目：授業配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：5分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・実習書 (配布)、スライドなどの説明資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本	*内田 貴之 *岡本 康裕 *前田 紀香

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/01/20 (火) 4時限 14:50～16:20	ポートフォリオ	ウ 医療面接 c マナー（身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 オ 医療の質の確保 a 患者満足度 8 診察の基本 ア 診察のあり方 b 心理・社会的側面（プライバシー、尊厳、インフォームド・アセント）・苦痛への配慮 ウ 医療面接 a 意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加） b 自己紹介、患者の確認 d 聴取事項（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望） e 患者への説明・声かけ・例示 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ③病歴聴取（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等）を説明できる。 F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-1 診察の基本 F-1-1) 口腔内の診察・記録 ①患者情報を収集、分析できる。 ③高頻度歯科疾患を診断し、その治療方針・治療計画を立案できる。 F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。	*内田 貴之 *岡本 康裕 *前田 紀香